

5月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和3年5月21日 13：30開会

場所：中津市役所4階研修室

出席者：栗田教育長、中島委員、自覚委員、横松委員、本田委員

黒永教育次長、奥久教育総務課長、岩久学校教育課長、岩丸社会教育課長、
末吉体育・給食課長、野畑小幡記念図書館長、山本生涯学習推進室長、高崎歴史博物館長、
木村教育総務課主幹

○5月教育委員会報告

栗田教育長から、5月時における教育委員会事務局の動き等報告。

○令和3年度6月補正予算（第1号）について

奥久教育総務課長から、6月補正予算の概要について説明。

特に意見等なく、賛成多数で承認した。

○中津市公民館条例及び中津市図書館条例の一部改正について

岩丸社会教育課長及び野畑小幡記念図書館長から、三光公民館と三光福祉センターの複合的整備に伴う条例の一部改正について説明。

特に意見等なく、賛成多数で承認した。

○学校評議員及び学校運営協議会委員の委嘱及び任命について

岩久学校教育課長から、議案内容について説明。

- ・学校評議員がコミュニティスクールになったらなくなると聞いていたが、来年度から運営委員会という形がどこの学校にもできていくということか。また、運営協議会は学校に残っていくのか。

→コミュニティスクールを導入していない学校におきましては、学校評議員さんに学校の協議活動について御意見をいただくという形で運営しておりました。これが今回、学校運営協議会という形で新たに作り直す形になりますので、それまでの評議員制度は廃止する形になります。新たに学校運営協議会の中で学校の教育目標を一緒に理解した上で、どのように地域と学校で、また家庭も一緒に子どもたちを育てていくかという議論をしていく場というふうに、発展していく形になります。

- ・コミュニティスクールの発想から考えて、委員さんたちが選ばれていくということか。

→学校によって大きな教育目標があって、その教育目標を達成するために、どんな委員さんたちに来ていただいたらいいかということも学校のほうで考えていくことになります。ですので、これまでの評議員さんの選び方とは少し変わってくるかと思います。

【裏面につづく】

- ・委員の選定については誰が推薦して、任命は誰が任命するような形になるのか。
→推薦に関しては、学校長を中心として、地域の方々とも相談しながら推薦者を決めていきます。任命に関しては、教育委員会のほうから委嘱状を出して任命という形にしております。
 - ・学校評議員会の時は、学力向上委員もほぼ兼任のような形で一緒にやっていたと思いますが、評議員以外の委員会は、コミュニティースクールにも移るような形になるのか。
→今までは学校の経営のところの評議員の方にさせていただいて、そして学習活動や学力のことは、それぞれ会というのがあったと思いますが、学校運営協議会は全部入るような形で、既に先行しているところは学力部会、学習部会などの部会に分かれて、それぞれが担当の方を置かれてというような形で進めているところが、現在多いようにはあります。
- その他特に意見等なく、賛成多数で承認した。

○令和3年度中津市教育委員会の施策について

奥久教育総務課長から、議案内容について説明。

- ・小・中・高・短期大学との連携の促進で、教育委員会の枠を越えてもいいので、短期大学校や看護専門学校等への支援、政策などを、具体的にやっているところがあるのか。
→（教育委員より）ファビオラ看護学校に、市から奨学金を出していただいている学生さんが複数名いらっしゃいます。
→教育委員会とは直接的には関係ないですけれども、やはり中津市内でも結局は女性の働く場がないということで、上の学校に進学しても帰って来て働く場がないということで、女性の働きやすい就業の場の整備に対して補助を行うなど、そういったものを制度として設けて、少しでも女性が中津のほうに帰っていただきたいというようなことで、そういった施策に取り組んでおります。
→教育委員会ということになると、連携というところで、工科短大やファビオラの学生さんに小学校に行っていただき子どもたちに憧れを与える、また、東九州短大の教育実習先に中津市立の幼稚園に来られて、体験をしていただいて中津に就職していただくようにというようなことをしています。
 - ・直接この施策とは関係ないですが、先日、由布の小学校でコロナのクラスターが発生したが、情報共有や中津でのこれからの対策があれば教えていただきたい。
→中津も日々コロナの感染という形で情報が入ってまいります。庁内で意思共有をして常に、万が一広がったときにどうするかという対策はいつもしっかりとっておりますし、ライン等を使って情報共有も努めております。体制まで含めて、しっかり協議していくようにしておりますので、引続き感染対策の周知に努め、学校と連携して、また市長部局とも連携して取り組みをさらに強化していきたいと考えているところであります。
- その他特に意見等なく、賛成多数で承認した。